

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒103-6125

住 所 東京都中央区日本橋2丁目5番1号 日本橋高島屋三井ビル
ディングス25階

氏 名 株式会社 J E R A

代表取締役社長CEO兼COO 奥田 久栄

(代理人) 川崎火力発電所 曾根 英文

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 J E R A		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町5番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	33	電気業
主たる事業 の内容	電気事業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	※※※※	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	※※※※	t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2023 年度 ~ 2025 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 369,997	(実) 372,628	(実) 351,726	(実)	(実) 369,997
	(調) 369,993	(調) 370,611	(調) 351,726	(調)	(調) 369,993
削減率		(実) -0.7 %	(実) 4.9 %	(実) %	(実) 0.0 %
		(調) -0.2 %	(調) 4.9 %	(調) %	(調) 0.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量		原単位等の単位			
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	※※※※
第2年度	※※※※
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○川崎火力発電所および東扇島火力発電所として、具体的な実施する措置内容は、設備の圧力・温度・流量等の各管理値について日常管理を行い、最適運転の継続に努めることで、発電設備からの温室効果ガス排出抑制および販売する電量の低炭素化に努めます。</p>
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に運転状態を確認し、重要な監視データはログシートに記録を実施 ・定期点検の前後には性能試験を実施し、分析に必要なデータの計測や記録採取を実施し設備維持を実施 ・一定期間毎のエネルギー使用量を把握し、効率管理・分析を実施 ・蒸気圧力・温度・流量、復水器真空度等の管理値を設定すると共に、日常管理を実施 ・設備メンテナンスを定期的実施し、設備品質を維持し、発電端熱効率を維持することでCO₂排出量低減を維持
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に運転状態を確認し、重要な監視データはログシートに記録を実施 ・定期点検の前後には性能試験を実施し、分析に必要なデータの計測や記録採取を実施し設備維持を実施 ・一定期間毎のエネルギー使用量を把握し、効率管理・分析を実施 ・蒸気圧力・温度・流量、復水器真空度等の管理値を設定すると共に、日常管理を実施 ・設備メンテナンスを定期的実施し、設備品質を維持し、発電端熱効率を維持することでCO₂排出量低減を維持
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	JERAグループとして取り込み継続実施中
風力	×	JERAグループとして取り込み継続実施中
バイオマス	×	JERAグループとして取り込み継続実施中
未利用エネルギー		
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<p>○ガスタービン等の取替工事の実施により熱効率が向上し、燃料使用量や 温室効果ガス排出の抑制を実現。</p> <p>○火力発電の温室効果ガス排出抑制対策として、発電所設備の定期的な保守・点検を実施し、熱効率の維持に努める。</p>
第1年度	<p>○設備データを常時監視し熱効率管理を継続実施することで、燃料使用量やCO₂排出の抑制を実現した</p> <p>○火力発電のCO₂排出抑制対策として、発電所設備の定期的な保守・点検を実施し、熱効率の維持に努めた</p>
第2年度	<p>○設備データを常時監視し熱効率管理を継続実施することで、燃料使用量やCO₂排出の抑制を実現した</p> <p>○火力発電のCO₂排出抑制対策として、発電所設備の定期的な保守・点検を実施し、熱効率の維持に努めた</p>
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<p>○広報活動を通し、地球温暖化対策の大切さ、重要性をお客様に理解いただく。</p>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してJERAの脱炭素に関する取り組みの重要性について、発電所見学时等を利用し理解活動を継続して実施した。 ・地域イベント(川崎区、高津区)に参加継続し、広報活動を通して地球温暖化対策の大切さ、重要性をお客様に理解いただいた。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してJERAの脱炭素に関する取り組みの重要性について、発電所見学时等を利用し理解活動を継続して実施した。 ・地域イベントに参加継続し、広報活動を通して地球温暖化対策の大切さ、重要性をお客様に理解いただいた。
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	※※※※ t-CO ₂	※※※※ t-CO ₂	※※※※ t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	※※※※ KL	※※※※ KL	※※※※ KL	KL
事業所の数	2	2	2	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
東扇島火力発電所	川崎市川崎区東扇島 3 番地	※※※※	※※※※	※※※※	
川崎火力発電所	川崎市千鳥町 5 番 1 号	※※※※	※※※※	※※※※	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度

8 事業者における基準年度からの温室効果ガスの種類ごとの排出量の推移（4号該当者等）

温室効果ガスの種類	温室効果ガスの量（t-CO ₂ ）				目標排出量 （t-CO ₂ ）
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
①非エネルギー起源CO ₂ （②除く）					
②廃棄物の原燃料使用に伴う 非エネルギー起源 CO ₂					
③CH ₄					
④N ₂ O	※※※※	※※※※	※※※※		※※※※
⑤HFC					
⑥PFC					
⑦SF ₆					
⑧NF ₃					